



令和4年6月定例会

第143号

# 議会だより

佐々町議会HP  
QRコード



## ◆ 目次 ◆

- 令和4年5月臨時会・6月定例会(補正予算・条例・その他) … 2～3
- 委員会報告 (総務厚生委員会・新庁舎特別委員会) …… 4
- 委員会報告 (産業建設文教委員会) …………… 5
- 賛否表 …………… 6
- 一般質問 6人が町政を問う …………… 7～13
- 町民の「声」 …………… 14
- 西九州自動車道建設促進大会 …………… 15
- 議会日誌・編集後記 …………… 16

# コロナ対策

# 可決

# 生活応援商品券事業

	配付型	購入型
セット内容	1セット 3,000円 (500円×6枚)	1セット2,500円 (500円×5枚)
販売金額		2,000円 プレミアム率25%
セット数	14,200セット	60,000セット
配付数 (販売数)	1人1セット	1人4セットまで
販売箇所		商工会事務局 ※特設会場を 設置予定
使用可能 店舗	町内事業所、店舗を持つ事業所 (商工会会員でなくても可)	
使用不可 商品	商品券が利用できない商品 ※ビール券、図書券等の換金性が 高いもの、たばこ、公共料金等	

目的として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）を活用し地域経済の活性化と生活支援を目的とした生活応援商品券が発行されます。

①配付型として全住民に1人当たり3千円分を配付。「8月中旬に配付開始、9月3日から使用開始」

②購入型として1セット2500円の商品券を2千円で販売。「9月3日から販売開始、使用開始」

5月臨時会  
6月定例会で  
審議したこと

5月臨時会は5月27日に開催しました。6月定例会は6月20日から22日までの3日間の会期で開催され、両議会であわせて13議案すべてを原案通り可決・同意しました。

# 一般会計の補正予算概要

本会議名	主な事業等	補正額
5月臨時会	・子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金事業 ・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業	63,682千円
6月定例会	コロナ対策 生活応援商品券事業	86,049千円
	佐々クリーンセンター基幹的設備改良工事発注事務に係るアドバイザー業務委託料	8,100千円

## 主な議案の内容

### ○学校給食物価高騰対策事業費補助金

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、高騰する食料費の増額分の負担を支援し、保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った学校給食の実施を目的とした補助金を交付するものです。

学校給食費の10%を物価上昇分と見込んで、各校の給食会計へ、町から補助金として交付し、2学期からの8月分から3月分の給食が補助対象となります。

### ○附属機関の設置に関する条例の一部改正について

佐々クリーンセンター基幹的設備改良工事総合評価審査委員会（基幹的設備改良工事の総合評価入札実施に係る落札者決定基準、技術審査等に関する事務を行います）と、し尿等前処理施設建設工事総合評価審査委員会（し尿等前処理施設建設工事の総合評価入札実施に係る落札者決定基準、技術審査等に関する事務を行います）が附属機関として設置されました。

### ○その他議案等

佐々町私債権管理条例制定の件、佐々町営住宅条例等の一部改正の件、工事請負契約締結の件（令和

4年度大新田排水機場3号排水ポンプ等補修）、令和4年度佐々町一般会計補正予算、令和4年度佐々町公共下水道事業会計補正予算など。意見書として会計年度任用職員の処遇改善にむけた法改正と雇用安定に関する意見書が提出されました。

### 佐々町副町長が選任されました。

地方自治法第162条の規定に基づき議会の同意を得て選任されました。

中村 義治氏（再任）



### 固定資産評価審査委員会委員が選任されました。

固定資産評価審査委員会委員3人のうち1人が任期満了となり、議会の同意を得て選任されました。

松尾 佐和子氏（新任）



※表紙写真…佐々太極拳かんわ会演舞（6月19日佐々町公民館フェスティバル）

# 委員会報告

## 総務厚生委員会

本委員会は、5月10日に委員会を開催し、新型コロナウイルススワクチン接種事業（4回目）について、議会運営委員会の事務調査について調査を行った。

○新型コロナウイルススワクチン接種事業（4回目）については、国から5月中旬に接種券の発送準備をするような通知を受けている。  
3回目接種から5か月以上の間隔が必要とのこと。  
町のスケジュールとして、5月下旬までに接種券などの発送準備を行い、6月上旬から発送、7月から準備が

整いしだい、接種を開始する説明を受けた。  
○議会運営委員会の所管事務調査については、住民の方から議会に手紙をいただいた件について、項目ごとに各所管委員会に振り分けて所管の事務調査の参考とさせていただき取り扱うことを確認した。

○その他報告事項として、第1投票所の場所の変更ということで佐々町役場3階の第2会議室で対応する。「でんでんパークさざ」のターザンロープ遊具で事故があり、現在対応中の報告を受けた。

## 新庁舎建設に関する調査特別委員会

5月24日（火）

### 1. 新庁舎建設に関する調査について

#### ① 現在の進捗状況について

実施設計が3月に完了。別館解体及び近隣住宅の家屋調査の入札が終わり、着工していく予定。

また、昨年基本設計図書の概要版を配布しているが、実施設計でまとめた内容に更新し、建築計画概要書を作成している。予定工事としては、令和4年8月着工、令和6年5月末日竣工予定。

### 委員からの質問

**Q** さざの丘の高さは。

**A** 工事の中で必要性、汎用性、使い勝手等を十分加味して検討したい。

**Q** ソーラーパネルの必要性は。コンセプトの表現在重要ではないか。

**A** 概要書の表現に具体性が伴っていない部分があるため、改善したい。

**Q** 電気自動車等の充電機器の配線は。

**A** 地中埋設配管を将来的に対応可能な状況とし、車庫付近まで配置を予定している。

**Q** 建築資材は高騰中であり、予定事業費で対応可能なのか。

**A** 現段階の設計として問題はないが、今後単価上昇が見込まれる場合には、請負者との協議が必要になってくる可能性がある。

**Q** 発注方式の考え方は。業体脱退の明確な理由及びペナルティの是非について議論があった。各委員の受け止め方、認識が様々で見解に差異があり、委員会として報告を受けて終了した。

#### ② その他の案件 設計業務に係る共同企



庁舎建設に向けて別館の解体はじまる

# 産業建設文教委員会

4月19日(火)

## 【付託】

議案第25号

佐々町私債権管理条例

制定の件

議案第26号

佐々町営住宅条例等の

一部改正の件

3月定例会において付託された2議案について協議を行った。

議案修正の意見が出され、協議の結果、修正を行うことを決定した。

5月20日(金)

## 【付託】

議案第25号

佐々町私債権管理条例

制定の件

議案第26号

佐々町営住宅条例等の

一部改正の件

修正議案の提案を受け、

修正議案を可決、修正部

分を除く原案についても、

全会一致で可決した。

私債権とは、契約等の当事者間の合意(私法上の原因)に基づき発生する債権です。

佐々町の主な私債権として、公営住宅使用料、公営住宅共益費、公営住宅駐車場使用料、普通財産貸付使用料、副食費、高額医療費貸付金、水道料金、佐々町奨学資金等があげられます。

町の私債権の管理に關し、必要な事項を定め、債権管理の一層の適正化を図るため関連する条例の制定と一部改正が行われました。

## 【所管事務調査】

## 【その他報告】

1. 観光・商工について

①プレミアム付商品券の

発行について

政府補助金を活用した

商品券発行を計画してい

る旨の説明を受けた。

委員から、全町民を対

象とした取り組み等につ

いて質問があった。

2. 事業の進捗状況調査

について

①投資的事業の進捗状況

調査について

建設課・水道課・農林水

産課・教育委員会より

報告を受け、調査を行

った。

3. その他緊急を要する

事業について

○議長の諮問に関する事

項について意見交換を

行った。

1. 都市計画マスタープ

ランの策定について

○2022年～2041

年の20年間を計画期間

とするマスタープラン

について、説明を受け

た。

2. 西九州自動車道建設

促進大会について

3. 和解及び損害賠償に

ついて

①公用車による物損事故

について

報告を受け、調査を行

った。

②道路陥没による物損事

故について

○繰越事業となっていた

事業の、国県支出金交

付決定金額が減額とな

ったため、専決処分に

対応した旨が報告され

た。

い、町道への土砂崩壊があり、緊急対策を行っている旨の報告を受けた。

った理由、事前の対応の瑕疵等について問う質問があった。

※その後の本会議で、対応について不備があったことが報告された。

10. その他

6. し尿等前処理施設建設事業に関する地元説明会について

7. 花菖蒲・うなぎまつりの開催について

8. 大新田排水機場3号排水ポンプ等補修について

9. 3年災農地等災害復旧事業について

10. その他

①診療所条例の一部改正の専決処分について

②新型コロナウイルスワクチン4回目接種について

③企業版ふるさと納税について

④企業版ふるさと納税について

委員から、減額とな

ったため、専決処分に

対応した旨が報告され

た。

委員から、減額とな

ったため、専決処分に

対応した旨が報告され

た。

委員から、減額とな

ったため、専決処分に

対応した旨が報告され

た。



# 令和4年5月臨時会・6月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対 -は退席(棄権)

議案番号	議案件名	平田康範	川副剛	横田博茂	永田勝美	長谷川忠	阿部豊	永安文男	橋本義雄	須藤敏規	淡田邦夫	評決数	結果	
46	専決処分した事件の承認を求める件 (佐々町税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	承認	
47	専決処分した事件の承認を求める件 (佐々町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	承認	
48	専決処分した事件の承認を求める件 (令和3年度 佐々町一般会計補正予算(第18号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	承認	
49	専決処分した事件の承認を求める件 (佐々町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	承認	
50	令和4年度 佐々町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決	
25	佐々町私債権管理条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	修正可決	
26	佐々町営住宅条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	淡田議長は裁決に 加わりません	9対0	修正可決	
51	附属機関の設置に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決	
52	工事請負契約締結の件 (令和4年度 大新田排水機場3号排水ポンプ等補修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決	
53	令和4年度 佐々町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決	
54	令和4年度 佐々町公共下水道事業会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決	
55	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を 求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意	
56	佐々町副町長の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意	
発議2	議員の派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決	
請願1	消費税インボイス制度の実施延期を求める請願書	産業建設文教委員会へ付託												
意見書1	会計年度任用職員の処遇改善にむけた法改正と雇用安 定に関する意見書(案)の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○			9対0	原案可決

※議案 46～50号は5月臨時会・25号26号は委員会付託議案・51号以降は6月定例会議案です。

**平田康範 議員(一問一答) …………… 8**

- ① 新規就農者の支援について
- ② 職員のための職場環境改善について

**永安文男 議員(一問一答) …………… 9**

- ① 学校教育について
- ② 公園遊具の維持管理について

**長谷川忠 議員(一問一答) …………… 10**

- ① 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練について
- ② 佐々町立診療所小児発達専門外来開設後の状況について
- ③ 小春橋に隣接する河川公園の新幹線トイレ補修工事の計画等について

**永田勝美 議員(一問一答) …………… 11**

- ① 小中学校給食の無償化に向けた取り組みについて
- ② 町内交通の充実に向けて
- ③ 新型コロナ対策について
- ④ くらし・福祉の充実に向けて

**川副 剛 議員(一問一答) …………… 12**

- ① 災害対策について
- ② 過去一般質問したその後の進捗状況について
- ③ 行政事務の二重チェックについて

**橋本義雄 議員(一問一答) …………… 13**

- ① 北部に河川公園を
- ② 菖蒲園の菖蒲について
- ③ 桜について



皿山菖蒲うなぎまつり(6月5日皿山公園)

◎一般質問の記事について 質問した議員が執筆したものです。  
 ◎一般質問方法 【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。  
 【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。

# 新規就農者への町独自の支援策は

## 農業活性化に結びつく施策を研究する

農業経営は、営農用燃料費、生産資材費の高騰など生産コストは増大する一方、農産物への価額転嫁はできない状況で厳しい環境にあるため、新規就農者へ対しては町独自の支援が急務との思いから、町の考えを質した。



平田 康範

### ■ 質問

国においては、新規就農者への支援制度が新設されているが、町としての独自支援策はあるのか。

### ■ 町長

町独自の支援策は現時点ではありません。

農業委員会など農業関係の機関と協議を進めなければと思っています。

### ■ 質問

新規就農者は営農技術の取得も大きな課題である。

県の地域就農支援センターと連携し、当地区のJAは就農支援研修制度を構築され取り組みをされている。

町においても支援センターやJAと連携を図るなどサポート体制の充実が必要ではないのか。

### ■ 町長

県やJA、地元の農業者の方などと総合的にサポート体制の構築をしなければと思っています。

また、技術取得の支援も大変重要と思っています。

### ■ 質問

新規就農者の農地取得の際に大きな壁となっているのが、農地法による下限面積である。新規就農者が農地を取得しようとする場合は、緩和も検討すべきではないのか。

### ■ 町長

農業経営の基盤強化促進法等の一部を改正する法律が令和4年5月27日に交付されています。

一年以内に政令で定める日から施行されますが、農地を利用しやすくするため、下限面積の要件は廃止されるとお聞きしています。

### 下限面積とは

農地を耕作目的で権利取得しようとする場合は、農地法第3条の許可要件の1つとして、取得しようとする農地を含め、取得後の耕作面積が50アール以上必要とされている。

職員の職場環境の改善に向けた取り組み

効率的な業務遂行を  
図りながら改善に  
努める

働き方改革が叫ばれていることから、本町の取り組み状況について伺った。

### ■ 質問

国においても時間外勤務の縮減など改善を求めている。

労働時間は使用者、管理者の指揮命令下にある時間となっているが、時間外労働の確に把握した上での残業となっているのか。

### ■ 町長

職員一人一人が効率的な業務遂行を図りながら時間外労働の改善に努めていただいていると感じています。

我々も自覚しながら、今後職員の皆さんと一緒に労務改善に向けて、考えていかなければと思っています。

### ■ 質問

夜間役場の開所については、以前の質問に対し、十分に検討するとのことであった。

多額の費用を投じてコンビニで税の納付・各種証明書の交付ができるようになっていく。

時代が変化している今日において、今後も夜間役場の開所（毎週金曜日）が必要なのか。

今後も継続するのであれば週末ではなく水曜日などの開所についての見解は。

### ■ 町長

職員組合などと十分に話し合いを進めながら働き方改革の推進を図っていきます。

コンビニでの税の納付、証明書等の交付を定着させることが、住民サービスの向上になると考えています。



コンビニでの証明書等の発行はマイナンバーカードが必要です



# 学力向上対策の取り組みは

## P D C Aサイクルの構築に取り組みます

生きる力を育む学校教育を充実するとあるなか、今後確かな学力を習得していくためにどうすべきか。佐々町の教育水準を高める学力向上の取り組みについて質問した。



永安文男

### ■ 質問

佐々町の教育水準が高いということ、本町の子育て施策と相まって人口増加につながっていると思うが、今年初めに実施された学力調査の分析は。

### ■ 教育長

現在町内の小中学校では全国で標準化されたものを小学校1年から中学校2年まで実施。これにより学力がどの程度に位置するかを知ること、課題を把握して次年度の学力向上につなげることが大きな目的です。

結果は偏差値で見ると50以上が10教科、50に及ばなかったものが17教科で総じて本町の小中学生の学力はほぼ全国標準並みにあるということです。

### ■ 質問

見受けられる課題に対し、どういう対応を指示していくのか。

### ■ 教育長

具体的な学習内容の分析から、PDCAサイクルのアクションが可能になり、プランを立てるための学力向上に関するPDCAのサイクル構築

に取り組んでいきます。まずは学力向上は授業からと考えており、課題となった領域を強化する授業改善を進めていきたい。町内3校での授業研究、県教委からの講師招聘などレベルの高い指導を受ける機会をつくっていきます。

### ■ 質問

コロナ禍での学校と教育行政の課題は。

### ■ 教育長

最大の課題は感染拡大をいかに阻止するかということ、それに伴う学習の遅れをどうするか。タブレットによる授業の工夫を行い、不十分なところは放課後や夏季休業中を活用した個別的な補充学習を行わなければならないと思っています。

## でんでんパークでの遊具事故の検証は

## 再発防止策を進め安全点検を充実します

大規模公園での事故が相次いでいるので、再発防止の観点から事故防止策を質した。

### ■ 質問

でんでんパークの遊具事故の概要について。

### ■ 町長

でんでんパークに設置のターザンロープの遊具に父親が3歳の子どもを抱いて滑走中、ワイヤーが切れて地面に落下、お父さんが腰を打撲されたという事故が起きました。大変ご迷惑をおかけしました。大町としては最低限の検査等をやっていますが、検査を厳しくするなど安全点検の方策を考えていかなければならないと思っています。

### ■ 質問

公園遊具の点検状況と町内



ワイヤー切断のターザンロープ遊具

### 全公園の遊具の維持管理は。

### ■ 建設課長

職員が標準的確認項目により点検を行っており、見落としが無いように確認していますが、どうしても限度がありますが、今年3年度から専門業者に定期点検を委託しています。

### ■ 質問

今回の検証をふまえ、今後の事故防止の方針は。

### ■ 建設課長

- 今後の再発防止に対しての方針は、
- ① 利用者向け注意事項のわかりやすい掲示をする。
  - ② 不具合や破損、推奨期限に疑義がある点検結果には適切かつ迅速に対応する。
  - ③ ワイヤー使用の遊具は、数値を測定する検査項目を追加する。
  - ④ 定期点検記録を活用して、実施状況、点検結果、修理部材の交換状況を管理する。その他必要な情報についても台帳で管理して効率的な維持管理を行います。以上の対策を講じ今後の事故防止に努めます。

# 避難所に女性職員の必要性が重視されているが本町は

## 様々なニーズにお応えできる体制は取っていく

避難所開設時の対応・新設医療状況・公共施設管理を質した



長谷川 忠

### ■ 質問

5月30日に3回目となる新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練が実施された。訓練は多数の参加者の中で、コロナ禍における適切な指導が行なわれた。しかし、全国で避難所開設時の女性職員が重視されているが、本町での対応策の考えは。

### ■ 町長

避難所の対応は非常に重要な課題と考えております。現在、一時避難所の開設には、原則男性1名・女性1名となるように措置を行っております。

### ■ 質問

全国的に防災担当部署の女性職員はいなく、47都道府県中でも長野県87%・富山県86%・岩手県81%・8%・長崎県81%にてワースト4位です。このような中、本町としての具体的な体制づくりとして避難所におけるマニュアルは。

### ■ 総務課長

避難所運営マニュアルに基づき、今回機構のほうも改革

をしておりますので、順次検討を進めて、改善を図っていきます。

### ■ 質問

女性職員の配置が問題なのは、夜間緊急対応において泊まり込みなどの業務が大変であり、また、子育て中の女性職員の配置は難しいと理解します。そこで、非常に子育てを終えた保健師・看護師・保育士さんなどの支援出来る方のリストを作成しては。

### ■ 総務理事

提案の女性による民間の方の活用は、災害時の状況などを整理し研究して考えたい。



避難訓練風景

## 4月に開設した小児発達専門外来の周知は出来ていたか

### 情報が伝わっていないかった

### ■ 質問

月一回、第三金曜日に小児発達専門外来の本町での利用者数は。

### ■ 町長

6月の健診・診察予約受診者数は、佐々町16名、平戸・松浦は2名。現在、9月迄の予約数は17名。初診13名、再診4名です。

### ■ 質問

先日、小児発達専門外来の対象者の御両親に、開設したと伝えたら、全く知らなかった。教育委員会側より該当する、小中学校への連絡は行っていないかったのか。

### ■ 町長

4月の広報紙、ホームページでも掲載し、関係団体の会議でも紹介させていただき、多岐にわたり周知に努めました。大変申し訳なかつ

たと思っております。

### ■ 教育長

校長会で5月に紹介を受け、6月初めに全生徒に紹介文を配布しました。情報が伝わっていないかった事は反省しています。



発達専門外来

## 小春橋河川敷公園の新幹線トイレ補修工事は計画を立ながら順次やって行きたい



新幹線トイレ



永田 勝美

# 給食は義務教育・無償化すべき

憲法26条は義務教育を無償化すると定めています。今回の一般質問では、学校教育の中で「食育」をすすめる上で給食は重要な位置を占めており、無償とすることが当然のことではないか。という角度から質問しました。

学校での食育における給食の位置付けは

生きた教材として活用している

### ■質問

食育において、給食の位置付。地産地消の食材活用。喫食率。朝食未摂取の現状について質問する。

### ■教育長

給食は生きた教材として、栄養教諭が年間80回程度の指導を行っています。地産地消食材については79・3%（県内産）の利用であり、コメについてははすべて佐々町産を利用。喫食率は97%以上。朝食未接種の子どもは小学校で1.5%、中学校で4.2%という状況です。

給食は重要な教育課程・無償が適当では

負担するには予算が伴い、なかなか厳しい

### ■質問

学校給食法では義務教育は

無償とすべきとしているが、68年間も無償化を実現できていないのは情けないではないか。ゆたかな食育をバックアップしていくことが大切ではないか。

いま20数年来の物価高が子育て世帯にかかっている。消費税値上げで47,000円・コロナで収入が減った世帯が16、17%、今後の物価値上げで月に6,000円上がると言われている。いまこそ

学校給食は無償化すべきではないか。佐賀県では4割の町で無償化されており、大都市でも無償化のうごきが強まっている。佐々町でも無償化実現は可能ではないか。

### ■町長

無償化のためにはあらたに4,000万円の予算が必要となる。国や県の補助金があれば、厳しい面があります。いま現在無償化というのなかなか厳しいと思っております。

### ■意見

佐々町で4,000万円が出せないのか。いま町民の暮らしに安全と安心をもたらす、

子どもたちの成長を支えるという点で、給食無償化はインパクトが大きい。暮らしに大きな力を与える取り組みと考える。重ねて検討を求める。

外出支援タクシー補助はさらなる改善を

経過を見て議会に報告します

### ■質問

タクシー補助が月に4枚から8枚に増やされ、支援上限が1,000円までとなったが、一方で半額負担が導入され、「使いづらい」との声を寄せられている。今後の改善をどう進めるのか。

### ■住民福祉課長

4月の利用者が449人1,749枚の利用となっており、うち約3分の1、603枚が初乗り料金の範囲内での利用となっています。今後も利用状況をしつかり見た上で改善点が見えてきたら議会にも報告します。

安心できる学びの環境を、生理用品トイレ設置を求める

子どもたちの考えを聞くなど経過を踏まえた対応をしたい

### ■質問

生理用品について西海市では「トイレにいつも置いてあることで安心感がある」という小学校高学年児童の声を受け、「児童の意見を大切にすることが、1人残らず安心して過ごすことのできる学校づくりにつながる」として、トイレへの設置を決めた。佐々町でも困っている児童生徒がいることは紹介している。テストケースとしてでもやってみていただけないか。ドローン・ローノルトの「子ども」という詩の一節にも「安心を経験した子どもは信頼を覚える」とある。ぜひ実現して欲しい。

■教育長  
女生徒の困りがあるかどうかという事への対応ということ、まずは中学校において、生徒の考えを聞いて、学校で対応を考えていくという取り組みを始めたところです。

# 災害対策・仮設住宅の予定地は

## 千本公園グラウンドを1つの候補地として考えております

水害災害で家屋が全壊、半壊した場合、早急に仮設住宅を建設すべきと考えました。



川 副 剛

### ■ 質問

戸別受信機の性能は。

### ■ 企画商工課長

放送内容を音声で再確認できることに加え、文字がディスプレイにされ放送内容を確認できます。

### ■ 意見

防災行政無線が聞こえにくいとの声が聞かれる。大雨時には、一分一秒の情報が必要になる。要望される世帯には行き届くよう配置するべきだ。



戸別受信機  
(防災ラジオ)

## 過去一般質問した その後の進捗状況に ついて

### ①カーブミラーの設置について

### ■ 質問

朝露などでカーブミラーが見えず、事故が起きるのではないか、曇らないカーブ

ミラーを設置してはどうかと質問したが、その後の対応は。

### ■ 町長

今年度、議員ご指摘の、日中に蓄えた熱エネルギーで朝露などで寒い季節も凍りにくくする、気温蓄熱式のカーブミラーの導入を進めております。

### ■ 質問

### ②千本公園の駐車場のライン引き、及び舗装の状況は。

### ■ 建設課長

駐車場の区画線(ライン引き)を簡易的に整備をしました。駐車場前面については、路肩改良工事を今年度予定しています。

### ③通学路について

### ■ 質問

佐々中学校裏、グラウンド横の通学路の安全確保については。

### ■ 教育長

6月3日に里山地区の通学路について、保護者、学校、教育委員会職員で現地協議を

行い、通学路の変更についての意見のとりまとめを行っています。

### ■ 意見

昨年、交通事故があった八街市では事故後、9月の定例会で提案した、ハンブ(道路の一部を盛り上げて、車に振動を与えることで、スピードを出すのを防ぐ)が設置された。危険箇所には点検も大事だが、ガードレール・ハンブ等、物理的な処置をするべきだ。

## 行政事務の2重チェックについて

### ■ 質問

阿武町での誤振込みが話題になったが、2重チェックが機能していなかったということであり、本町での公金を扱う事務作業の2重チェックは徹底されているのか。

### ■ 町長

出納室の職員、会計管理者等確認し、銀行へ渡す払出伝票の金額をチェックしております。誤振込を防ぐため、職員に向けて注意喚起を行っております。

### ■ 意見

全国的にも誤振込は相次いでおり、公金を扱っているという緊張感をもって、事務作業をするようにしていただきたい。



ハンブ (高さ10 cm程度・長さ2~3 Mのこぶ)  
時速30 km制限の道路に有効。



# 健康づくりの拠点として神田・市瀬橋 上流に河川公園を



橋本義雄

## 補助事業が活用できるようになれば考える

### ■質問

佐々川下流の方には、桜堤があり、中央には市瀬の河川公園があります。それから上流には、何も作られていません。最近河川敷を散歩される方が多くなりました。桜堤・河川公園にはトイレもあり休むところ（ベンチ）がありますが、北部にはトイレも休むところもありません。北部にも河川公園を作るべきです。健康づくりの拠点として、是非考えていただきたい。

### ■町長

住民の皆さんが快適で豊かな生活を送られるための支援ということで、今後もしっかりと考えていかなければならないと思っています。



神田・市瀬橋上流に河川公園を



皿山公園菖蒲園

### ■菖蒲園の菖蒲について

#### ■質問

菖蒲祭り、お疲れさまでした。菖蒲も満開でイベントも盛会のうちに終えたかと思えます。

又菖蒲祭りに来られた方は、新型コロナウイルス感染症の中、咲き誇る菖蒲を見られ心癒されたのではないのでしょうか。例年になくよく咲いた中で、あえてよりきれいな菖蒲園にするために努力をされたらどうでしょうか。大村市の菖蒲園は九州でも屈指の菖蒲園です。研修をさせてもらって、又交流を深めながらより良い菖蒲園を目指したらどうでしょうか。

#### ■町長

大村市さんについてはなかなか難しい、一番いいのは民間の造園業者等に委託すればいいのですが高額な費用が掛かるのでこれまでの管理を継続してやっていく。

### ■桜について

#### ■質問

神田工場団地のり面に植栽してある桜について、以前質問した際に、多くの桜の種類があるので、名札を付けたらどうか質問した際、つけるようにしますということだったが、まだ付けてありません。そこで地域の皆さんで設置しようということ準備を進めておられます。総数160本、品種が32あります。そういう作業を進める中で、管理は何処がするのか、建設課なのか企画商工課なのか、ほかにあるのかお答えください。



神田工場団地のり面の桜「兼六園熊谷」

### ■建設課長

桜全体の管理は、建設課、神田工場団地は企画商工課の予算を組んでやっていきます。

#### ■質問

神田工場団地のり面には多くの名木が植えられています。兼六園にある兼六園熊谷、奈良の奈良の八重桜・日本の桜守り佐野藤右衛門さんが育てられた矢野紫桜・ピンクから白へと変わる一葉桜など多くの名木を観光に生かしたらどうか

#### ■町長

観光に生かせるかどうか十分検討しながら地域の皆様の力を借りながら検討させていただきます。



八重紅枝垂れ桜



# 町民の皆様からよせられた

## 「声」ご意見!!

※原文のママ掲載しています。

### 真竹谷及び

### 桜の季節について

野寄免 山之内 智枝

真竹谷のしだれ桜が満開の折、友人と花見をしていました所、佐世保市内から来たという男性に「桜はきれいに咲いているが、草は延び放題、歩道もあぶない。他から人を呼ぶのであれば、もっと整備をちゃんとしてほしいと役場の人に言ってほしい。」と要望がありました。せめて、その季節だけでも整備をお願いしたいと思います。

### 遊休町有地の

### 有効活用について

平野免 藤永 諭

佐々町の貴重な財産である。町有地が、具体的な利活用の見通しも示されず、更地（一部原野）のまま、長期間放置された末に、この度苦肉

の策ともとれる、一部民間売却も視野に検討するという方針が示されました。なぜ、今、売却に舵を切ったのか、どの様な議論がなされたのか、又、充分な議論は尽くされたのか、甚だ疑問です。

これまで町執行部は、一貫して遊休町有地を活用した企業誘致という漠然とした方針を主張し続けてこられました。しかし近年、佐々町インター開設により、人流、物流の利便性は、格段に向上したにもかかわらず、企業誘致の実績はなく、驚くことに、誘致活動すら、やっていないと言及されています。

一方で、昨年3月以来、佐々町の人口は、前年同月比で、減少の一途を辿っています。急激な人口減少は、町の衰退を招き、住民サービスへの影響も懸念されます。たとえ将来的な人口減少は避けられないとしても、可能な限り、緩やかなものにするために、やはり企業誘致による、雇用機会の拡大は不可欠であると思

います。人口減少が顕在化した今こそ、積極的かつ、早急な誘致活動が必要ではないでしょうか。

他方、この膠着状態の打解策としての、一部売却はやむなしとしても、売却後の業者による、事業（開発）計画については、佐々町の長期ビジョンに合致し、町の発展に資するものであることを義務付ける必要があると考えます。勿論、売却にあたっては、公平、公正、透明性、客観性が担保されなければならない事は言うまでもありません。この事については、議会の厳正な監視の目を期待したいものです。

### 佐々町頑張れ!

羽須和免 梁川 勝英

佐々町議会6月定例会を初めて傍聴させていただきました。そこでは町民を代表する議員と理事者側の真剣な議論が交わされていました。

佐々町は平成の市町村合併を深い議論の末に避け、独立歩の道を選択しました。したがって、どんなに厳しくても限られた予算と職員で効率よくかつ的確に地域における行政課題に対応しなければなりません。

つまり、あれもこれもではなく、あれかこれかでの選択を迫られる場面も多くなります。

しかし、「鶏口となるも牛後となるなかれ」：たとえ厳しい状況に置かれたとしても自らの意思で自分たちの地域の課題に対応できるのです。

そのためには、住民一人ひとりが自分の住む「佐々町」のことに関心を持つことが大切です。議会や役場にすべてを任せるのではなく、まずは「地域のことを知ろう」とする意識が大切なのだと思います。



# 西九州自動車道建設 促進大会実施報告

○開催日時

令和4年6月12日  
(日曜日) 午前11時より

○開催場所

佐々町文化会館

大ホール



○主催

佐世保市・平戸市・松浦市・佐々町

○共催

長崎県西九州自動車道建設

促進期成会

○出席者 約330人

## 【決議】※一部抜粋

●西九州自動車道は、昨年の

7月九州地方新広域道路交通ビジョンにおける「九州リ

ングネットワーク」の一翼を担い、九州西北部の主要

都市間の連携強化・一体化を促し、地域経済の発展、

活性化に寄与する道路である。現在、全体計画の約1

40kmのうち、約7割の92kmが供用されているが、3

割が未供用であることから、西九州自動車道の効果が十分

に発揮されていない状況である。高速道路ネットワーク

ワークがもたらす効果は、経済の好循環を生み出し地

方創生の後押しとなることが期待される。

西九州自動車道の整備促進を図るため、国におかれ

ては次の事項において特段の配慮がなされるよう強く

要望する。

一、松浦佐々道路、伊万里松浦道路及び伊万里道路の早期完成

一、佐々IC↪佐世保大塔IC間の4車線化の整備促進

また、佐世保大塔IC↪武雄南IC間の4車線化の早期着手

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進す

るとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通

常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと

一、頻発する大規模自然災害の脅威・危機に即応するた

めの地方整備局等の体制の充実・強化を図り、災害対

応に必要な資機材を更に確保すること

以上、決議する。

令和4年6月12日

西九州自動車道建設促進大会

〔4月〕

4日 議会広報委員会

11日

議会広報委員会

18日

議会広報委員会

19日

産業建設文教委員会

22日

議会広報委員会  
議会運営委員会

〔5月〕

10日

総務厚生委員会

20日

産業建設文教委員会

24日

新庁舎建設に関する調査特別委員会

27日

議会運営委員会  
第1回臨時会

30日

町村議会議長・副議長研修会  
(東京国際フォーラム ホールA)

〔6月〕

12日

西九州自動車道建設促進大会

13日

全員協議会  
議会運営委員会  
議会広報委員会

20日

6月定例会(1日目)

21日

6月定例会(2日目)

22日

6月定例会(3日目)

23日

新庁舎建設に関する調査特別委員会  
長崎県町村議会議長会 臨時総会

佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

## 次回定例会の傍聴ご案内

9月を予定しています。日程については、広報無線、佐々町公式ホームページでお知らせします。

6月定例会の傍聴者数は13人でした。

## 町民の声を募集中!

TEL62-2101  
FAX63-5398

## 議会広報委員会からのお願い



「佐々町議会」の腕章を着用した議会広報委員が、取材の折に写真撮影を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 議会傍聴アンケート募集

佐々町議会では、傍聴をされた方からご意見・ご要望をいただき、今後の議会運営に役立ててまいりたいと考えています。アンケート用紙につきましては、議場傍聴席入口に設置してありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 編集後記

新型コロナウイルススワク  
チン接種の4回目を実施されて  
いる時期に、議会だよりも配布  
されていることと  
思います。記事を書く時は  
本町の感染者がなかなか減  
少せず、又、農家では雨も  
少なく稲作に影響が出てい  
ます。

8月は、逆に台風や豪雨  
など災害の多くなる時期で  
す。今一度、配布されてい  
る佐々町総合ハザードマッ  
プを確認し、避難に関する  
情報が発表されたら早めの  
避難を心がけ、自らの命は  
自ら守る意識を持ちましょ  
う。

須藤 敏規

